

花は甘い罌の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	花は甘い罌の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	花は甘い罌を読んだことのある10代～50代の男女12名
調査期間	2025年7月1日～2025年7月2日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hanahaamaiwana/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 花は甘い罌を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	1人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	7人
40代女性	2人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2: 花は甘い罠の感想を教えてください。

『花は甘い罠』1話～5話	急転直下の展開が多く、ハラハラさせられる作品でした。通常ののんびりモードとのギャップもハラハラ度を上げているように感じました。普段は樹木のお世話をしていたほっこりするのに、家では植物人間が寝ているわけですから。しかもワケあり。ただ仕事をしていただけなのに、こんなことに巻き込まれる未桜さんが可哀そうに感じました。
『花は甘い罠』1話～5話	未桜がたまたま植木の世話をしているときに殺人鬼に出くわしてしまうという流れが本当に興味深いですね。鬼気迫る状況なのに未桜の雰囲気ととにかく明るいので見ていてなんだか面白さが高まりました。なんとかその殺人鬼から逃れることができたのですが、その時の正当防衛行為から殺人鬼に危害を加えてしまい彼を植物状態にさせてしまう流れには驚きましたね。この先、どのような展開になるのか全く見えない感じが非常に面白いです。
『花は甘い罠』1話～5話	出だしからショッキングなシーンで始まり、侑羽が目覚めてからも記憶喪失に過眠症と予想できない出来事が起こり続ける波乱たつぷりな展開に一気に引き込まれました。また画力がとても高く、恐ろしいのに妖しい美しさを持つ侑羽の表情に惹きつけられます。未桜が樹木医という設定も新鮮だと思いました。この先2人がどんな関係になっていくのか、見当がつかずとても楽しみです。
『花は甘い罠』6話～10話	未桜が侑羽との偽装夫婦生活を演じているのに対して、そろそろ限界を感じてそうなシーンが多かった気がします。侑羽はあまりにもミステリアスかつ不気味なので、未桜の心が折れてしまうのも共感できました。記憶喪失となった侑羽がこれからどう変化していくのかも楽しみです、偽装とはいえど二人の間には少しずつ愛が生まれてるんじゃないかとドキドキしています。
『花は甘い罠』6話～10話	植物状態から目覚めた侑羽と未桜のやりとりがかなり笑えますね。セリフの応酬に独特のテンポがありかなりの笑いを誘ってくれます。とにかく未桜の嘘が独特の面白さを含んでいて最高ですね。このヒロインのおかげで物語が2倍にも3倍にも面白くなっている感じがしてたまりません。侑羽のリアクションもすごく魅力的で、この先の2人のやりとりに期待感が持てますね。
『花は甘い罠』6話～10話	侑羽に対して咄嗟についてしまった自分たちは夫婦だというウソのせいで、さらに突拍子もないウソを重ねる羽目になってしまいくだりの、動揺しまくっている未桜に思わず笑ってしまいました。また、その際の侑羽のリアクションが意外で、なんだか可愛らしく感じられてちょっとキュンとしてしまいました。未桜がだんだん侑羽にほだされてきていて、彼の記憶が戻った時に辛い思いをするのではないかと心配です。
『花は甘い罠』11話～15話	未桜の背中への傷を自分がつけてしまったのではないかと勘違いしてしまう侑羽の内面を見事に表現していてより興味が湧きましたね。この作品はキャラの心情をうまく描き出してくれるので、そこに強く惹かれてしまうというのはあると思います。侑羽の言動ととにかく格好良くて未桜と仲が深まれば深まるほど魅力が高まっていくので俄然目が離せません。
『花は甘い罠』11話～15話	未桜に対してストーカーが又しても躍動していくのでその姿が非常に面白いですね。夫の存在をちらつかせても全く引き下がろうとしないストーカーの心情がよくわかりませんね。普通だったらすぐに諦めるものなのですがそうではない姿に一抹の不安がよぎります。でもこのストーカーがいることで物語に面白みがプラスされていることは確かです。
『花は甘い罠』11話～15話	ここまでストーリーが進んでもハッピーエンドになるのかが全く分からないですし、もしかするとバッドエンドになってしまうのかといった様子もあるので、読めば読むだけ続きが気になってしまいました。また、今までに数々付いてきた嘘や過去がどう交わっていくのかなど、予想すらも出来ない展開ばかりなので、非常に中毒性が高くて時間を忘れてしまいます。
『花は甘い罠』16話	とにかくストーカーを早く懲らしめてほしい気持ちでいっぱいです。侑羽が何かしてくれそうな雰囲気を感じ出していたので一安心ですが、これからどうなることや心が落ち着きません。警察もいまいち頼りにならないし、やっぱり侑羽がやってくれると信じています。でも何かとんでもない失敗をしてしまいそうな感じもあり、なんとかいい落とし所を模索してほしい気持ちでいっぱいですね。

『花は甘い罠』16話	サスペンス的な要素はかなり落ち着いてきた印象を受けましたが、その反面コメディ感が強くなっておりこのギャップはとても良かったです。また、ストーリー的にはとにかく非現実的でリアリティはないですが、それだけ現実逃避にもなりましたし、植物状態だった男性との関係性にも益々目が離せなくなってきたので、続きがとても楽しみです。
『花は甘い罠』16話	未桜と侑羽の関係に大きな転機が訪れるエピソードで、二人の“歪んだ夫婦生活”がさらに深まっていく展開に引き込まれました。未桜が侑羽の異常行動に恐怖しつつも、夫婦のふりを続ける強い意志には切なさすら覚えます。特に、侑羽の過眠症や覚醒時の攻撃性・過剰な性欲といった設定が物語に緊張感を与え、今後どう折り合いをつけていくのかが気になります。医師・朋代の存在も、未桜の味方として心強く、救いの光を感じさせつつ、さらなる秘密も予感させる重要な役どころでした。二人の奇妙な同棲がどこへ向かうのか、今後の展開が一層楽しみです！

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス